

2019年原水爆禁止

国民平和行進 和歌山→広島コース

5月13日(月) 海南市役所前 出発集会 17:30~



市長メッセージを課長が代読。

核兵器禁止条約の早期発効を

5月13日月曜日、晴。海南市の平和行進です。海南市新庁舎前での集会。今年で2度目です。集会前、地元の海南海草原水協吉本さん達と総務課と秘書係、議会事務局を訪問しました。市長、議会議長への「ヒバクシャ国際署名」役職署名の要請をおこない、併せて総務課に被爆者募金箱を渡して協力お願いをしました。一昨年、海南市では非核宣言都市が採択され、平和行進を迎えるかのように大きな垂れ幕が貼り出されています。(左写真)

集会では、最初に地元和高教第二支部西本周平さんが挨拶。次に県原水協からあいさつ。そして、海南市山形総務課長が海南市長メッセージの代読しました。職員さんも5名参加してくれています。続いて岡義明市会議員が連帯挨拶「1958年広島より一人で出発した平和行進は東京で1万の聴衆に迎えられた」と平和行進の歴史を紹介いただきました。わかやま市民生協からは垣内凡子さんが決意表明。最後に集会宣言を読み上げ採択し、平和行進へと移りました。コーラーは溝口恵さん。行進参加者はコール返しながら市庁舎の高台から市街地に向け坂道を行進しました。集会・行進参加者は約50人強。ヒバクシャ「国際署名」は29筆、集まりました。日本原水協土田弥生事務局次長と同窓先輩の方が集会に参加していて、土田さんの世界的な活躍を喜んでいました。5月14日の平和行進は紀美野町です。

原水爆禁止和歌山県平和行進実行委員会・事務局